

(22) らっきょう

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 乾腐病 <i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>allii</i> <i>F. solani</i> f. sp. <i>radicicola</i>	1. 無病地を選ぶ。 2. 発病株（収穫物を含む）は、土中深く埋める。 3. つり小屋の通風をよくする。 4. 種球に傷を付けないようにする。	植 付 直 前 （種球浸漬）	1 3 11	ベンレート水和剤 トリフミン水和剤 ストロビーフロアブル
		植 付 前 （種球浸漬）	M3・1	（混）ベンレートT水和剤20
		発 病 初 期	1	トップジンM水和剤
2 根腐病 <i>Pyrenochaeta</i> sp.	1. 無病地を使用する。 2. 連作を避ける。 3. 耕うん作業等で、病土を無病圃に持ち込まない。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. 土壌消毒方法はⅢ-14. 土壌病害虫の防除の項参照。	土 壌 消 毒	- -	ガスタード微粒剤 バスアミド微粒剤
3 白色疫病 <i>Phytophthora porri</i>	1. 発生圃場での育苗を避ける。 2. 発生圃場での連作を避ける。 3. 排水をよくする。	発 病 初 期	21 29 4・M5 27・11 27・40 27・M3 40・M5	ランマンフロアブル フロンサイド水和剤 （混）フォリオゴールド （混）ホライズンドライフロアブル （混）ベトファイター顆粒水和剤 （混）カーゼートPZ水和剤 （混）プロポーズ顆粒水和剤
4 灰色かび病 <i>Botrytis cinerea</i> <i>B. squamosa</i>	1. 収穫残さは埋める。	発 病 初 期	2 7 12 M5 M7	ロブラール水和剤 カンタスドライフロアブル セイビアーフロアブル20 ダコニール1000 ベルコートフロアブル
5 さび病 <i>Puccinia allii</i>	1. 草勢を良好に保ち、肥料不足や窒素過多を避ける。 2. 罹病株は抜き取り、処分する。	発 病 初 期	3 11	ラリール水和剤 アミスター20フロアブル
6 軟腐病 <i>Pectobacterium carotovorum</i>	1. 排水をよくして過湿を避ける。 2. 地下水位の高い圃場では高うね栽培を行う。 3. 窒素過多にしない。 4. 発病株は圃場外に持ち出し、処分する。	発 病 初 期	31	スターナ水和剤
7 アブラムシ類 （モザイク病）	1. 無病株を使用する。	発 生 初 期	1B	ジメトエート乳剤
8 ネギアザミウマ	1. 飛び込み軽減のため、防虫ネット（1mm目合以下）で被覆する。 2. 畦畔雑草を処分する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. ビリーブ水和剤はネギハモグリバエにも登録がある。	発 生 初 期	1B 3A 4A 4A 4A 5 5 3A・15	スミチオン乳剤 アグロスリン乳剤 モスピラン顆粒水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 スピノエース顆粒水和剤 ディアナSC （混）ビリーブ水和剤
9 ネダニ	1. 発生していない種球を使う。 2. 温湯消毒（47℃、10分間）する。 3. 酸性土壌を矯正する。 4. 排水をよくする。 5. りん片が堆肥にふれないようにする。	植 付 前	1B	ネマトリンエース粒剤
		定 植 時	1B 1B	トクチオン細粒剤F ジメトエート粒剤
		発 生 初 期	1B 4A	ジメトエート粒剤 ダントツ粒剤

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する